

町政を問う

児童・生徒を対象とした公民館体験活動の充実と内容周知の強化を！



篠原 天

篠原 公民館の体験活動及びその周知・広報活動の具体策について伺う。

教育長 各種助成制度など活用し、各公民館の特色を生かしたメニューの拡充に努め、町内メディアを通して広報活動を強化したい。

篠原 児童対象の体験活動全般は、現在、どこが統括しているか？

将来、専任スタッフ配置の考えはないか？

教育長 公民館定例会で、活動全般の検討・調整をしている。今年度、職員一名を社会教育主事講習に派遣し、公民館活動全般の拡充に資する予定。

篠原 財政難の折、スタッフの配置は容易ではないが、将来、活動内容を拡充し、町内観光事業者とのタイアップで、教育

特色ある体験活動の拡充により、

将来、教育旅行等誘致の可能性が！

町長

将来の可能性として、検討すべきテーマである

旅行等観光需要を取り込む可能性もあるのでは？

町長 将来的に、可能性はある。

教育委員会にはそのような視点を持って検討願いたい。

若者層の町内定住化
施策について

篠原 わが町の賃貸住宅で、新生活を希望する若者が、経済的な理由から割安な町外都市部での居住を選択する状況が想定される。対策として、町内賃貸住宅入居者への助成制度を導入する考えはないか？

町長 重要な視点ではあるが、公金補助を前提とした定住化施策には、やはり疑問がある。恒久的定住環境整備を優先した



大山登山に挑戦する児童

い。

篠原 まずは、住んでもらわねば、わが町の優れた定住環境も、実感できないのでは？

町長 助成制度は、あく

まで、将来の選択肢の一つと考える。

篠原 島根県では、中間地域の賃貸住宅供給不足解消のため、県住宅供給公社と共同で、自治体

が定住促進賃貸住宅を建設する業者に補助をする制度を導入している。

わが町での可能性は？

町長 可能性はあるが、わが県の住宅供給公社が休眠状態のため、早急な検討は困難。

産業育成・企業誘致について

篠原 現時点での取り組み状況及び問題点等伺いたい。ロシアへの貨客船就航の意義は？

町長 単町での取り組みには限界もあり、今後、県と連携し、西部圏域一体で取り組みたい。

航路開設の意義はあるので、町内企業との勉強会・意見交換会等の地道な努力も継続していきたい。